

日本建築学会論文集 論文の査読について

●投稿審査システム⇒ <http://mc.manuscriptcentral.com/aij>

- 論文集応募原稿査読要領
- 投稿審査システム「査読者マニュアル」

●査読にあたっての注意

- (1) 「論文・作品の発表の場におけるピアレビューに関する倫理規程」をご一読ください。
- (2) 査読は「論文集応募原稿査読要領」に従って行ってください。
- (3) 査読依頼はメールにてお送りし、査読承諾から査読結果の提出まで投稿審査システムにて行っていただきます。
- (4) 期限までに査読のご提出をいただけない場合には、事務局よりご連絡差し上げる場合がございます。
- (5) 2～3名の査読委員の評価に基づき、採否が決定されます。判定が「再査読」となった場合には、「再査読」と評価した査読委員のみに、2次査読を依頼させていただきます。
- (6) (2次査読について)「修正論文」「回答書」の2点に対し、再査読をお願いいたします。回答書には他の査読者の意見とそれに対する著者の回答も記載されている場合がございますが、査読は互いに独立して行うこととしております。
- (7) 本会発行の「日本建築学会論文集」「日本建築学会技術報告集」「JAABE」「JAR」「大会学術講演会研究発表梗概」「支部研究報告」については、採用が決定している場合、掲載誌発行前でも参考文献に挙げることを認めています。またこの場合、著者にはシステムに当該最終原稿を登録いただきます。

●査読の評価・コメント

- (1) 「採用」「再査読」「不採用」それぞれの著者への連絡欄に記入された査読意見等は全て、論文集委員会名でそのまま応募論文著者に連絡いたしますので、個人の感情的誤解等を招くことのないように、表現にご配慮ください。なお、1次査読で「再査読」と評価した論文の2次査読で再度「再査読」と評価することはできません。
- (2) 「採用」の著者へのコメント欄には、(著者に一任できる程度の)軽微な修正意見がある場合に記入をお願いいたします。
- (3) 「再査読」の著者へのコメント欄には、「Ⅰ. 再査読の条件」と「Ⅱ. 参考意見」とを明確に分けて記入ください。「Ⅰ. 再査読の条件」欄にはそれを満たさないと論文として成立しない条件に限定して、具体的かつ客観的な表現を用いて記入ください。なお、1次査読において「Ⅰ. 再査読の条件」として査読委員が指摘しなかった部分を、2次査読での不採用理由とすることは認めておりません。「Ⅱ. 参考意見」の欄には、総合的な意見など再査読の条件にはならない項目を簡潔に記入ください。
- (4) 「不採用」の著者へのコメント欄には、不採用の理由を具体的かつ客観的な根拠を明示して記入ください。

●各種規程類：

- [論文・作品の発表の場におけるピアレビューに関する倫理規程](#)
- [応募規程](#)、[執筆要領](#)、[版下原稿執筆の手引き](#)
- [査読要領](#)
- [部門・細分類表](#)、[原稿提出時のチェック票](#)、[PDF作成ガイド](#)
- [料金表](#) ※登載料は毎月1日のJ-STAGE公開後、当月の初旬に請求書をお送りいたします。
- [論文集の訂正](#)、[取り下げに関する運用要領](#)

●各種テンプレート：

[和文論文](#)⇒[左記の説明](#)、[英文論文](#)、[回答書](#)⇒[左記の見本](#)、[訂正記事](#)、[質疑討論](#)、[質疑討論への回答](#)

●各種申請書：

[訂正申請](#)、[取り下げ申請](#)、[著者変更申請](#)

●掲載希望系：論文集は構造系、計画系、環境系の3分冊で公開しています。

- 日本建築学会構造系論文集 掲載部門：「材料施工」「構造」
- 日本建築学会計画系論文集 掲載部門：「建築計画」「都市計画」「農村計画」「建築社会システム」「建築歴史・意匠」
- 日本建築学会環境系論文集 掲載部門：「環境工学」、

領域横断的部門：「防火」「海洋建築」「情報システム技術」「教育」「災害」「地球環境」

※領域横断的部門は、原則として環境系論文集に掲載されますが、著者の申告があった場合には、他系に掲載させていただきます。投稿審査システムの投稿画面 Step2 内〔系列：カテゴリー〕の選択を申告としています。